

不審者事前検知システム

DEFENDER-X 導入サービス

※DEFENDER-Xは ELSYS JAPAN 株式会社の製品です。

人の精神状態（感情）を身体全体の振動及び膨大な基礎データによって解析し、
群衆の中で犯罪を犯す潜在的可能性の高い人物を事前検知するシステムです。

概要

カメラ映像



防犯カメラによる映像監視

解析画像

人の振動成分を抽出して
精神状態を解析

検知画像

解析結果から不審者を
検知し赤枠で表示

群衆に紛れていても、変装していても、行動を装っても、
さまざまな状況で検知可能です

特長

監視カメラ映像で不審者を事前検知可能

- ・不特定多数から不審者を検知することが可能。
- ・被撮影者側に悟られることなく、不審者検知を行うことが可能。

照合データベースが不要

- ・データベースとの照合は必要ない為、事前に登録ができない初回来訪者や、パブリックスペースなどの監視に利用可能。

メリット

犯罪防止に貢献

- ・外観（目視確認）では正常に見える人物やセキュリティゲートを通過可能な内部の人物でも検知できるのでセキュリティが向上。

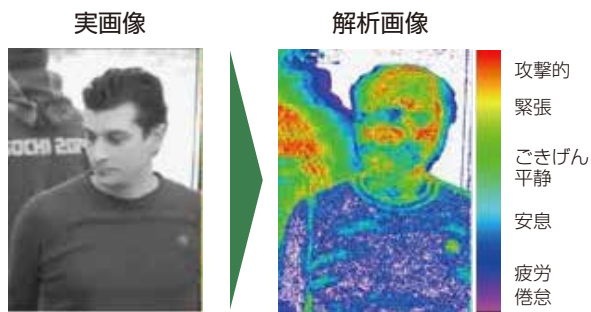
安全性の向上

- ・危険な精神状態にある人物を検知したことをメールやパトランプ等で伝えることで、犯罪が発生する前に注意喚起を促すことが可能。

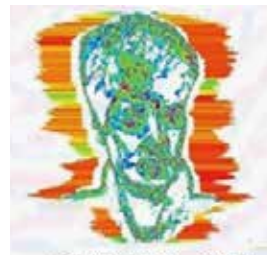
検出原理

実画像より人の振動成分を抽出

精神状態を判定し可視化



解析画像を
評価



攻撃性、緊張度、ストレス等の約50からなるパラメータにより精神状態を判定し可視化

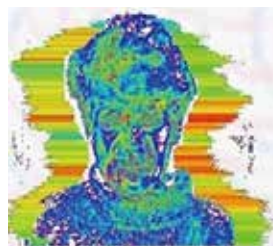
多くの実証実験を得て身体全体の振動パターンを色で識別



通常の状態



ストレスを感じた状態



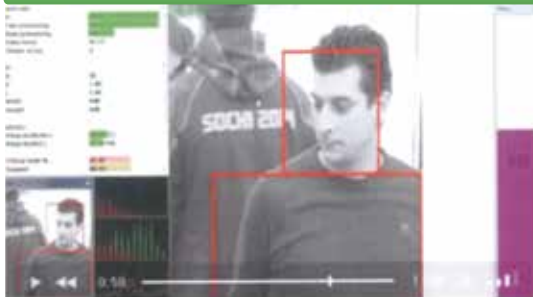
恐怖を感じた状態



攻撃性が高まった状態

運用実績・活用事例

入場検査エリアの不審人物検知



使用場所：オリンピック入場ゲート
目的：不審人物の検知

不正な入場を試みる人物や、危険な精神状態にある人物の検知に利用できます。

万引きの事前検知



使用場所：ショッピングモール
目的：窃盗防止

不審な人物に声かけすることで、窃盗を未然に防ぐことに役立ちます。

内部犯行の検知



使用場所：社員通用口
目的：通用口のセキュリティ強化

検知された社員に声かけすることで、内部犯行の防止に役立ちます。

安全に関するご注意

ご使用の際は、各構成品の取扱説明書等をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お問い合わせは、下記のNECネットエスアイへ

エンジニアリング&サポートサービス事業本部
エンジニアリング&サポートサービス販売推進本部
電話 03-5446-9180

e-mail: tssol@ml.nesic.com
https://www.nesic.co.jp/

※記載されている会社名、サービス名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
※記載内容は、2020年8月現在のものです。予告なく変更する場合がございます。